

特集

誰もが輝ける国東市を目指して

家事や子育て、仕事に地域活動。暮らしの中でどのような役割を担い、どのような道を歩むかは、誰もがそれぞれの希望や事情に応じて選び、それぞれの場所で輝けることが理想です。

その選択が「男だから」「女だから」と性別によって狭められることなく、互いを尊重し、誰もが安心して暮らせること。それが市の目指す男女共同参画社会の姿です。

今回の特集では、国東市の現状や、市内で活躍する人の声をご紹介します。あわせて、暴力に悩んだときの相談先をご紹介します。

問 人権啓発・部落差別解消推進課
啓発推進係
☎0978-72-0354

CONTENTS ―目次―

2 特集 誰もが輝ける国東市を目指して
8 市からのお知らせ
14 くにさき情報ナビ
18 子育て 子育てカレンダー／私の宝物／ひだまり
19 健康 健康カレンダー／私の達者な秘訣！／くにさき国保・保健だより
20 相談／休日当番医
21 くにさきわくわくコラム／くにさき学
22 人権シリーズ／教育の里あらかると
23 図書館つうしん
24 まちの話題TOPICS
26 お誕生おめでとう／お悔やみ申し上げます／ひとのうごき／表紙のはなし
27 国東市の分譲地情報／LINE友だち募集

Part 1 現状と目指す社会

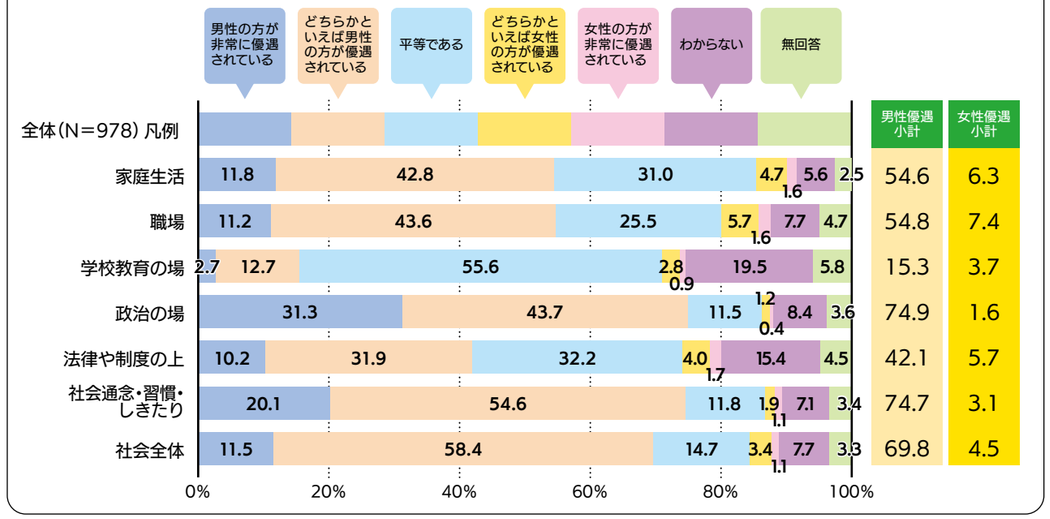
社会には、「男だから」「女だから」という理由で、その人の能力や個性が十分に発揮しにくい場面がいまだに見られることがあります。

この根底には「男は仕事、女は家庭」といった、性別によって役割を固定する考えがあります。近年はこのような考えにとらわれない人が増えてきていますが、職場・家庭・地域の中には、未だに慣習や風潮として根強く残っているのが現実だと考えられます。

実際に、県が令和6年度に実施した意識調査を見ると、「男女の地位が平等」と感じる人の割合は「学校教育の場」以外のすべての項目で低い結果になっています。

考え方は変わってきていても、暮らしの中の役割や仕組みには、まだ偏りが残っています。

男女の地位の平等感 令和6年度男女共同参画社会づくりのための意識調査（大分県）



目指すのは「誰もが自分の生き方を選べる」社会

男女共同参画は、女性のためだけのものでも、男女を何でも同じにすることでもありません。社会における活動やライフスタイルが多様化する中で、誰もが性別に縛られず、自分の希望や状況に応じて生き方を選び、互いを尊重しながら、責任も分かち合える社会を目指すものです。

その実現のためには、**誰もが活躍できる環境や、安心して暮らせる社会をつくることが大切**です。



今年7月、第4次国東市男女共同参画計画の策定に向けた市民意識調査を実施しました。
調査結果は、計画策定後に第4次国東市男女共同参画計画と併せて市報・ホームページでお知らせします。